

リーディングDXスクール事業【実践事例】

鹿児島市立鹿児島商業高等学校（鹿児島県）【指定校】

【取組内容】 EdTech教材の活用

鹿児島市が教育教材提供機関との提携を受け、本年度からEdTech教材を情報Ⅰで活用した。

EdTech教材とは、教育（Education）とテクノロジー（Technology）を組み合わせた言葉である「EdTech」を活用した教材である。従来の教科書やプリント教材とは異なり、コンピューターやスマートフォンなどのデジタルデバイスを使って、よりインタラクティブ（双方向性）で、個人に合わせた学習を可能にする。

EdTech教材の特徴

- **インタラクティブ性:** 映像、音声、アニメーションなどを活用し、単にスライドを読むだけでなく、クイズに答えたり、シミュレーションやワークショップを体験したりすることで、より深く理解を深めることが期待できる。
- **個別最適化:** 各生徒の学習進度や理解度に合わせて、問題の難易度や学習内容を自動で調整できるため、一人ひとりが自分のペースで学習を進めることができる。
- **多様な学習スタイルに対応:** 映像を見る、ゲームをする、プログラミングをするなど、様々な学習スタイルに対応した教材が豊富にあり、自分の興味関心に合った学び方を選ぶことができる。
- **時間や場所を選ばない学習:** スマートフォンやタブレットがあれば、いつでもどこでも学習することが可能である。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

鹿児島市立鹿児島商業高等学校（鹿児島県）【指定校】

【取組内容】 EdTech教材の活用

【授業の実際】

授業スライドを使い、以下のような授業展開を行っている

導入

動機付けのための
発問をし、取り扱
う内容の導入をす
る。

？ 考えてみよう

私たちの生活の中で・・・

インターネットにつながることで
できるようになったことは？

展開

学習範囲を示し、
レッスンを実施する。

▶ レッスンをはじめよう

授業の範囲

第1章

情報社会と私たち

第1章 情報社会と私たち

1節1 情報社会と情報

まとめ

発問に対する解説や学
習内容のまとめを行う。

👉 レッスンの内容を振り返ろう

情報社会

コンピュータやスマートフォン、インターネットの普及に
よって、世界中がネットワークで繋がっている社会

ビッグデータ

情報技術の進歩によって生まれた「膨大なデータ」

超スマート社会

ロボットやAIを活用する社会

Society5.0

Society4.0の次の未来社会
私たちはより良い社会を目指して、進化し続けている

生徒は理解度に合わせて進度（単元の予習・復習）を決めることができる。単元テストやワークショップの機能もあり、職員は生徒の評価へ利活用している。